

地球温暖化対策（緩和策と適応策）に関する県民意識アンケート調査

アンケート期間：令和4年2月15日～2月28日（14日間）

調査目的：令和3年3月に策定した「第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画」では、県民総ぐるみで地球温暖化対策を推進することとしていることから、地球温暖化に関する県民の意識や取組状況などを把握し、今後の施策の見直し等に活用することを目的に実施する。

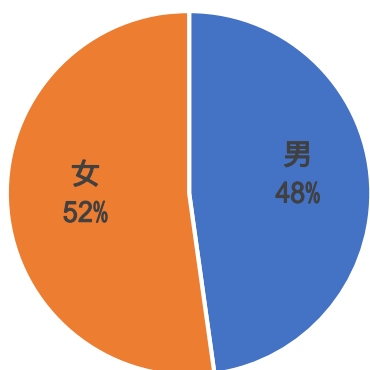
調査対象：ながさきWEB県政アンケート全モニター 337名

回答状況：回答者 301人（回答率89.3%）

調査担当課：県民生活環境部 地域環境課

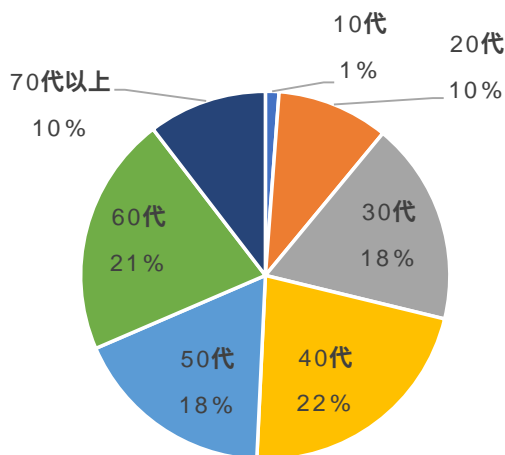
小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

回答者の属性



男女構成割合

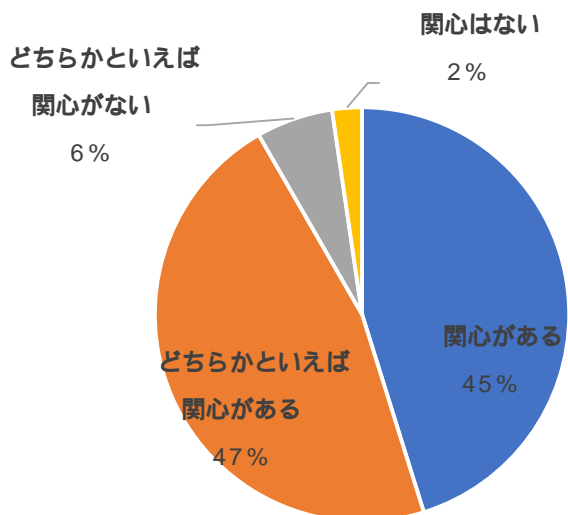
区分	人数	構成割合 (%)
男	161	48
女	176	52
合計	337	100



年齢区分別構成割合

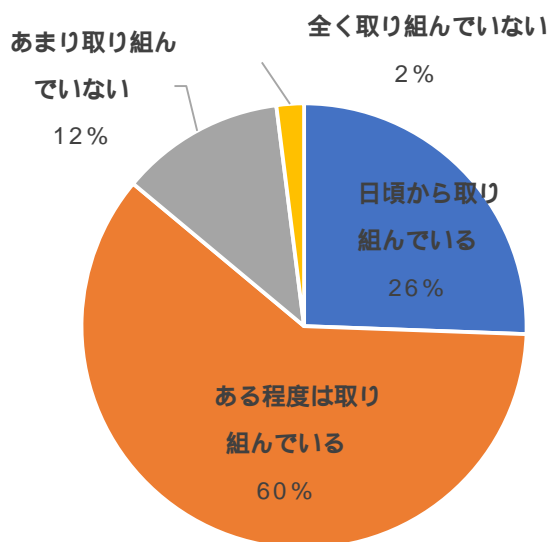
区分	人数	構成割合 (%)
10代	4	1
20代	33	10
30代	60	18
40代	74	22
50代	60	18
60代	71	21
70代以上	35	10
合計	337	100

Q1. あなたは、地球温暖化対策について関心がありますか。(1つ選択)



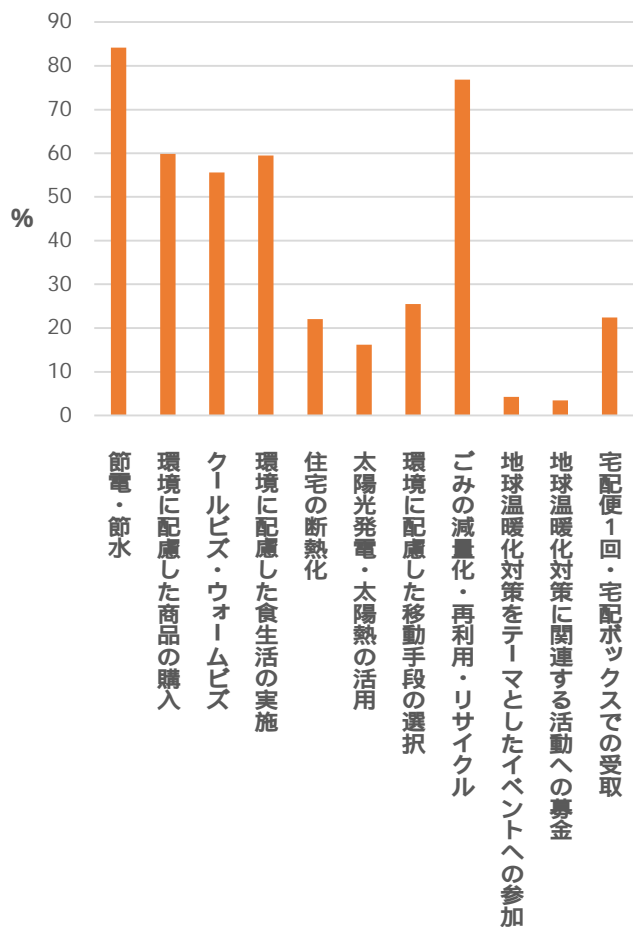
選択肢	回答者数	割合 (%)
関心がある	136	45
どちらかといえば関心がある	140	47
どちらかといえば関心がない	18	6
関心はない	7	2
合計	301	100

Q.2 あなたは、現在、地球温暖化対策(家庭での節電活動、公共交通機関の利用、ごみの分別やリサイクル、環境イベントへの参加など)にどの程度取り組んでいますか。(1つ選択)



選択肢	回答者数	割合 (%)
日頃から取り組んでいる	77	26
ある程度は取り組んでいる	182	60
あまり取り組んでいない	36	12
全く取り組んでいない	6	2
合計	301	100

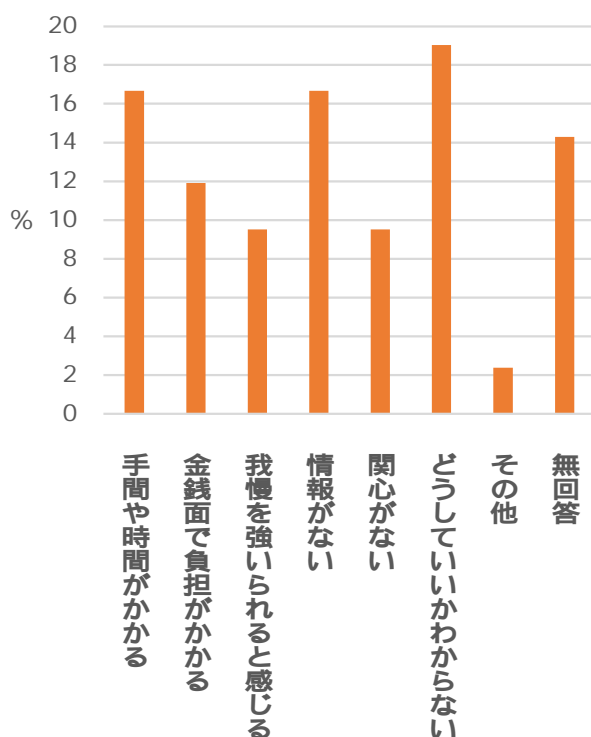
Q.3 質問2で(1)又は(2)を選択された方にお伺いします。あなたは、地球温暖化対策として具体的にどのような取組をしていますか。(複数選択可)



選択肢	回答者数	割合 (%)
節電・節水	218	84
環境に配慮した商品の購入	155	60
クールビズ・ウォームビズ	144	56
環境に配慮した食生活の実施	154	59
住宅の断熱化	57	22
太陽光発電・太陽熱の活用	42	16
環境に配慮した移動手段の選択	66	25
ごみの減量化・再利用・リサイクル	199	77
地球温暖化対策をテーマとしたイベントへの参加	11	4
地球温暖化対策に関連する活動への募金	9	3
宅配便1回・宅配ボックスでの受取	58	22

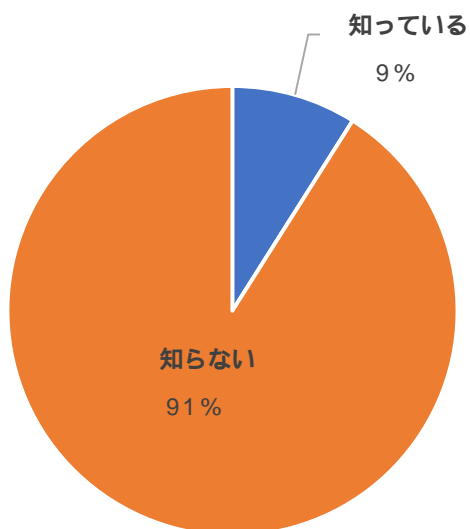
<その他回答>
 ・移動手段をバス・電車にする
 ・庭の植栽、エネファーム利用、生ゴミの堆肥

Q.4 質問2で(3)又は(4)を選択された方にお伺いします。あなたが地球温暖化対策に取り組んでいない理由として最も当てはまるものを選んでください。(1つ選択)



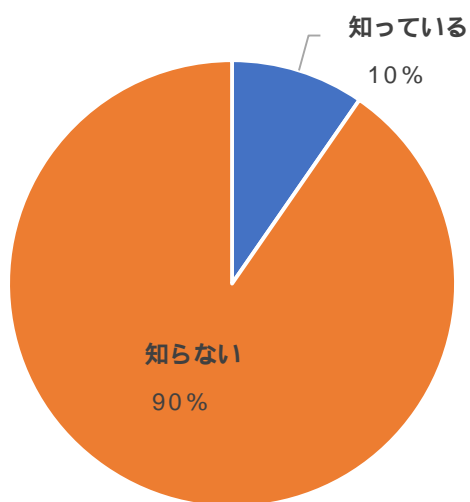
選択肢	回答者数	割合 (%)
手間や時間がかかる	7	17
金銭面で負担がかかる	5	12
我慢を強いられると感じる	4	10
情報がない	7	17
関心がない	4	10
どうしていいかわからない	8	19
その他	1	2
無回答	6	14
合計	42	100

Q. 5 県が令和3年3月に「第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画」を策定したことを知っていますか。（1つ選択）



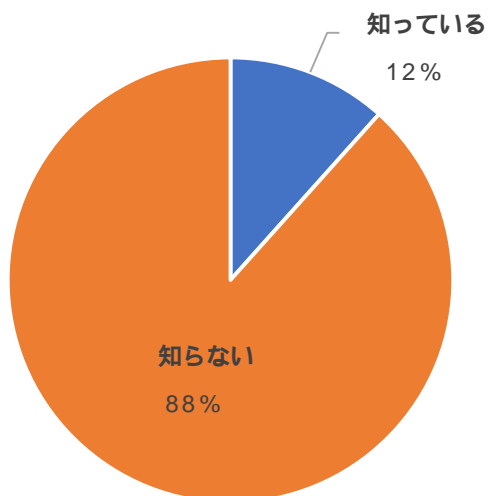
選択肢	回答者数	割合 (%)
(1)知っている	27	9
(2)知らない	274	91
合計	301	100

Q. 6 第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画において、「2030年度までに県内の温室効果ガス排出量を2013年度比で45.2%削減」という中期目標を掲げたことを知っていますか。（1つ選択）



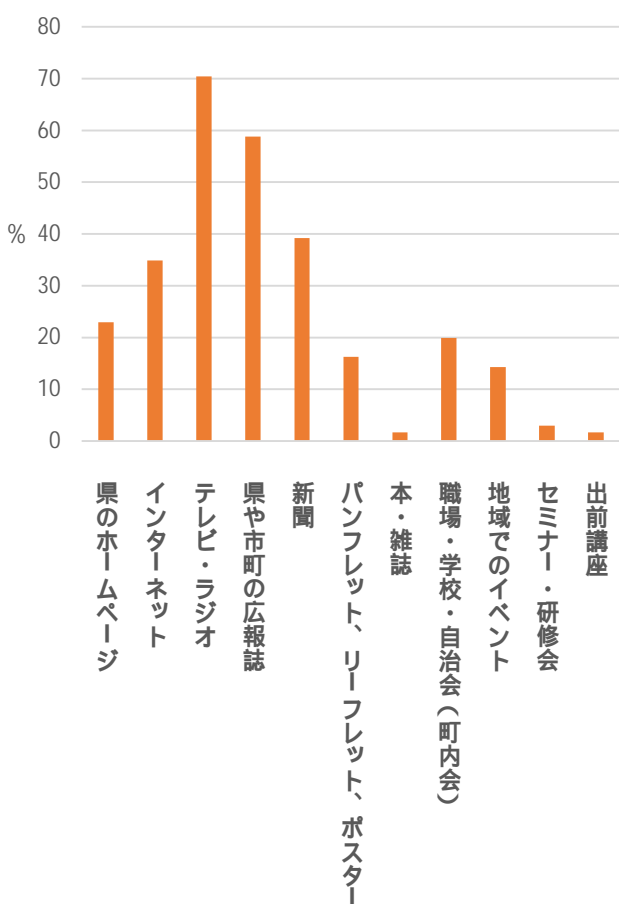
選択肢	回答者数	割合 (%)
(1)知っている	29	10
(2)知らない	272	90
合計	301	100

Q.7 九州エコファミリー応援アプリ「エコふぁみ」は省エネ・省資源など地球環境にやさしい活動に取り組む県民の皆様を支援する九州7県公式の環境アプリです。あなたは、「エコふぁみ」を知っていますか。(1つ選択)



選択肢	回答者数	割合 (%)
(1)知っている	35	12
(2)知らない	266	88
合計	301	100

Q.8 あなたは、質問5~7の「県の計画や削減目標」、「エコふぁみ」をより多くの方々に認識してもらうための媒体や機会として有効と思うものは何ですか。(3つまで選択可)

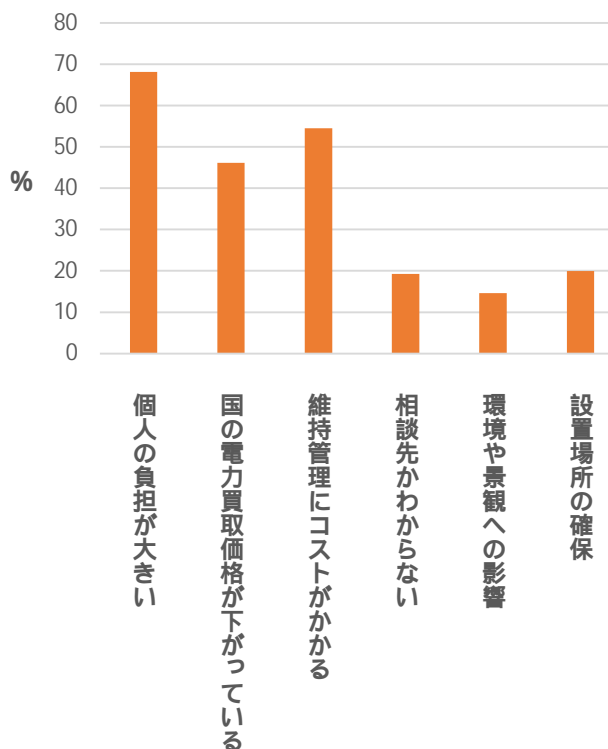


選択肢	回答者数	割合 (%)
県のホームページ	69	23
インターネット	105	35
テレビ・ラジオ	212	70
県や市町の広報誌	177	59
新聞	118	39
パンフレット、リーフレット、ポスター	49	16
本・雑誌	5	2
職場・学校・自治会(町内会)	60	20
地域でのイベント	43	14
セミナー・研修会	9	3
出前講座	5	2

<その他回答>

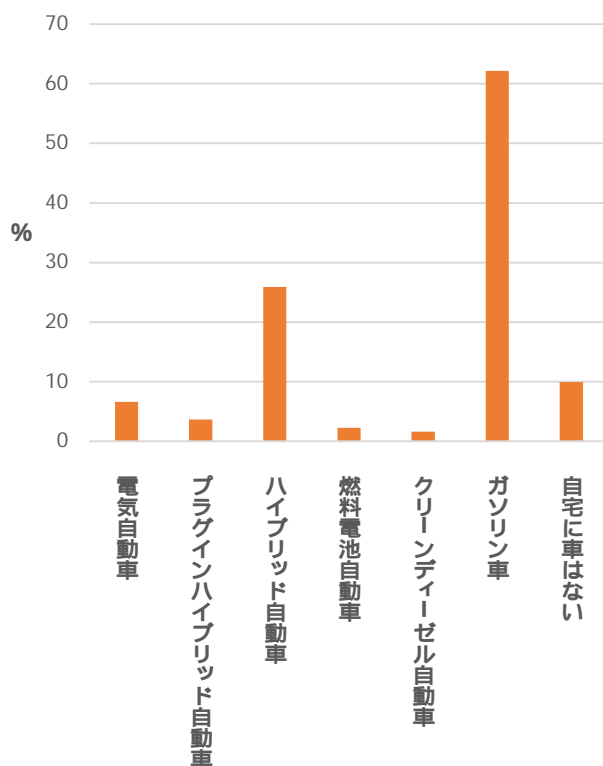
- ・知事自らがマスコミに出演して、訴える
- ・SNS、YouTubeの広告、インスタの広告
- ・行政各部署が先頭をきって行動すること、そのための予算を確保

Q.9 地球温暖化対策を進めていく中では、今後再生可能エネルギーの導入拡大が必要とされています。特に、太陽光発電については、国が昨年示した脱炭素ロードマップにおいて、屋根置きなど自家消費型の太陽光発電の普及が重点対策となっています。あなたは、今後、家庭での太陽光発電の普及にあたっての再生可能エネルギー対策を進めるための課題は何だと思いますか。（複数選択可）



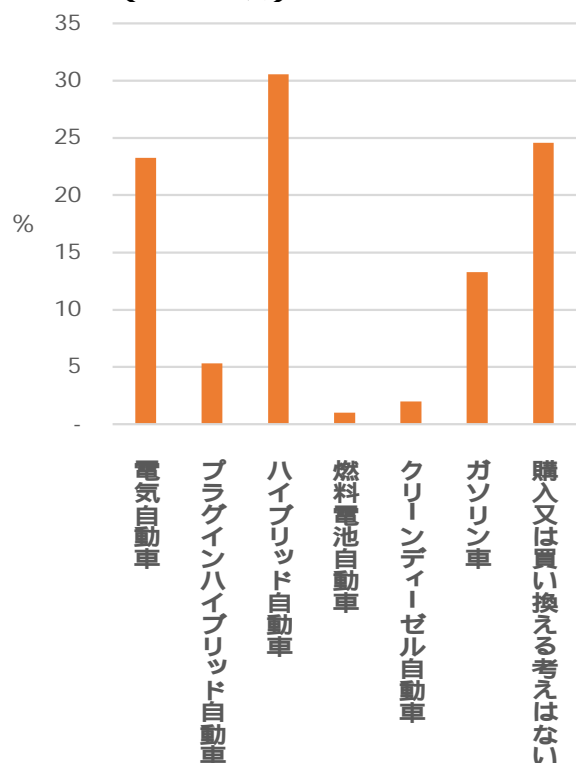
選択肢	回答者数	割合 (%)
個人の負担が大きい	205	68
国の電力買取価格が下がっている	139	46
維持管理にコストがかかる	164	54
相談先かわからない	58	19
環境や景観への影響	44	15
設置場所の確保	60	20

Q.10 国は「2035年までに新車販売で電動車100%を実現」という方針を示しました。県でも今後、電動車を普及させていくことが必要と考えており、普及に向けて現状や課題について整理する必要があります。あなたは、ご自宅でのどのような車を所有していますか。（複数選択可）



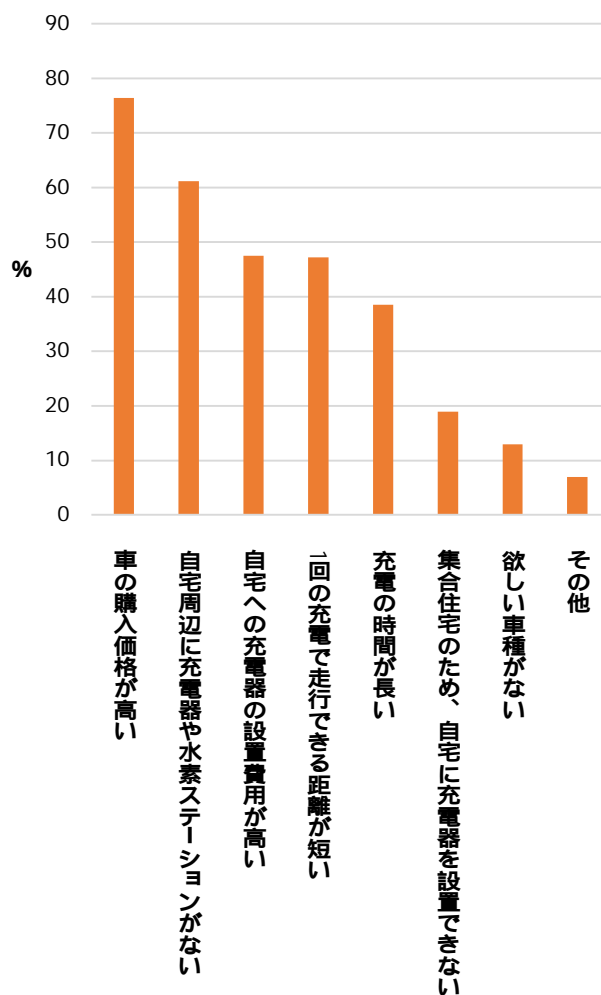
選択肢	回答者数	割合 (%)
電気自動車	20	7
プラグインハイブリッド自動車	11	4
ハイブリッド自動車	78	26
燃料電池自動車	7	2
クリーンディーゼル自動車	5	2
ガソリン車	187	62
自宅に車はない	30	10

Q.11 あなたは、今後、車を新しく購入又は買い換えるとしたら、どのような車を検討しますか。
(1つ選択)



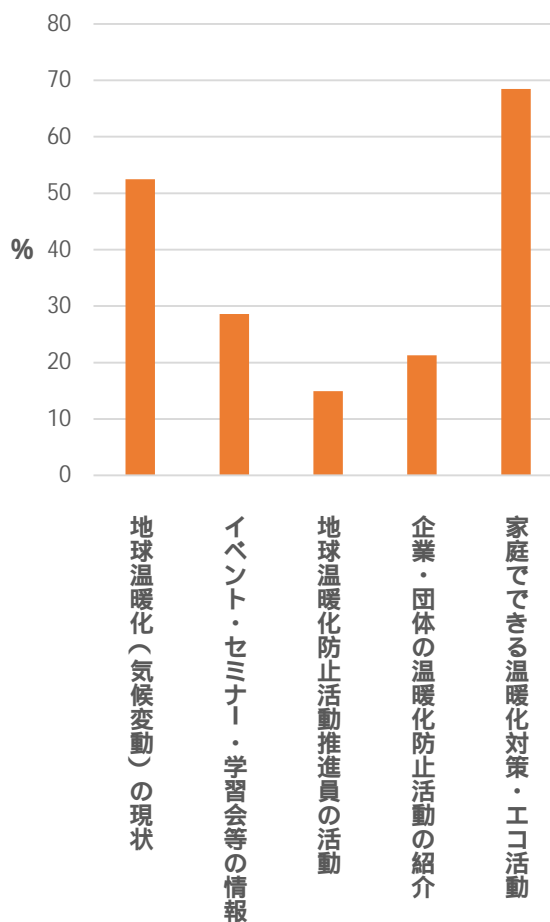
選択肢	回答者数	割合 (%)
電気自動車	70	23
プラグインハイブリッド自動車	16	5
ハイブリッド自動車	92	31
燃料電池自動車	3	1
クリーンディーゼル自動車	6	2
ガソリン車	40	13
新しく購入又は買い換える考えはない	74	25
合計	301	100

Q.12 あなたは、電動車をマイカーとして選択することの課題は何だと思えますか。(複数選択可)



選択肢	回答者数	割合 (%)
車の購入価格が高い	230	76
自宅周辺に充電器や水素ステーションがない	184	61
自宅への充電器の設置費用が高い	143	48
1回の充電で走行できる距離が短い	142	47
充電の時間が長い	116	39
集合住宅のため、自宅に充電器を設置できない	57	19
欲しい車種がない	39	13
その他	21	7

Q.13 あなたは、長崎県地球温暖化防止活動推進センターに今後どのような情報を提供してほしいですか。(複数選択可)



選択肢	回答者数	割合 (%)
地球温暖化(気候変動)の現状	158	52
イベント・セミナー・学習会等の情報	86	29
地球温暖化防止活動推進員の活動	45	15
企業・団体の温暖化防止活動の紹介	64	21
家庭でできる温暖化対策・エコ活動	206	68

<その他回答>

- ・正確な知識や巷で出回っている情報でない新しい視点の情報
- ・地球温暖化防止活動に係るキャンペーンや地球温暖化防止活動で個人が得るメリット
- ・温暖化が農作物に及ぼす影響(栽培できる作物や品種の変更など)
- ・温暖化に必要な山林整備の方向性

Q.14 地球温暖化対策（省エネや再エネ対策など）に関して、県の施策として求めるものは何ですか。ご自由にご記入ください。

【意見（一部要約）】

<産業部門・業務その他部門>

- ・省エネや再エネ活用企業への助成、ペットボトルやプラトレイ等を削減する小売業者への助成
- ・行政が率先して太陽光発電設備を導入 ・企業単位での温暖化対策促進
- ・公共工事をする際、排気ガス・砂ぼこり・悪臭・廃棄物の多さなど県で小規模～大規模の工事をする際は、まずそこから目を向けて欲しい
- ・入札業者の優先順位に脱炭素取り組みの評価ランクを導入
- ・小中高生の授業で少しずつ学びを深める

<家庭部門>

- ・家庭や学校でどのようにしたらいいのかわかりやすく説明（エコ活動の紹介など）
- ・補助金制度の新設及び拡充（県独自）（太陽光発電設備設置に係る費用の一部負担（蓄電や経年劣化に伴う機器の購入を含む））
- ・電力会社自由化について詳しく情報発信 ・余剰電力の買取価格の低下へ歯止め ・低額で高性能蓄電池の開発推進

<運輸部門>

- ・県が率先して公用車に電動車を導入 ・電気自動車の購入の際の補助金支給
- ・充電器や水素ステーションの整備 ・ガソリン代について、長崎の現状を踏まえて、情報発信
- ・公共交通機関のクリーンエネルギー化 ・JR 在来線（特急）の存続

<廃棄物部門>

- ・補助金の強化（生ごみ処理機） ・ごみ袋の工夫（廃材・間伐材・リサイクル紙などで、ごみ袋を作ってみるなど）
- ・県独自のボランティアイベントの開催（プラスチックごみや漂着ごみの仕分け、参加者にはポイント付与し、県内で消費できる形で還元など）

<部門横断的対策>

- ・10年、20年後を見据えた太陽光発電所や風力発電所の建設計画策定（県外からの企業誘致）
- ・大規模太陽光発電は住宅の屋根やビルの屋上などの利用を検討
- ・長崎県は島が多いので洋上風力発電設備や小規模水力発電等の推進
- ・ソーラパネルを自動車の屋根に設置することで、ある程度のエネルギーになると思う（研究開発のための補助を行う）

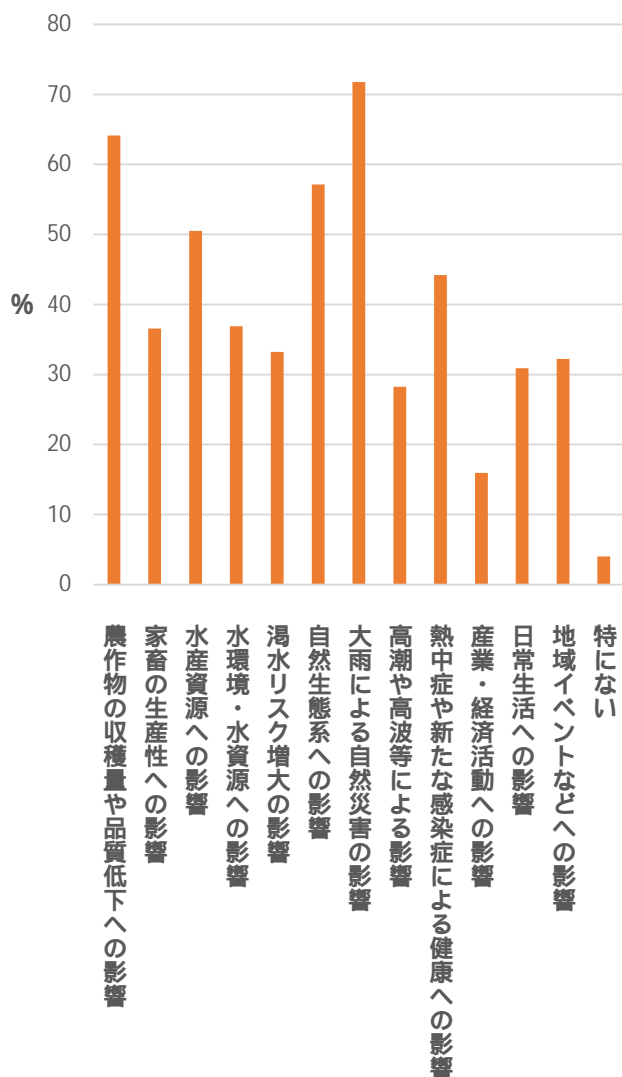
<普及啓発>

- ・家庭で簡単に取り組めるものや今の危機感をわかりやすく繰り返し情報発信（自治体の回覧板を長崎オリジナルでバインダーを作り、見開きにノウハウの印刷など）
- ・CMなどで定期的に必要性を説明
- ・地球温暖化による生態系の変化を具体的に情報発信（野鳥、昆虫、植物を少し注意して観察するだけで温暖化の影響を切実に感じるから）
- ・温暖化対策に取り組むとポイントがもらえるなどの特典がある政策 ・商業施設等に「SDGs コーナー」等の設置

<その他>

- ・自治体ごとに施策（取組）や成果を数値化して公表 ・毎月の各市町の電気量・燃料などの使用量の公開
- ・夜の照明を減らす

Q.15 あなたは、将来的な地球温暖化の影響（気候変動影響）として、どのようなことに不安を感じますか。次のうちから選んでください。（複数選択可）

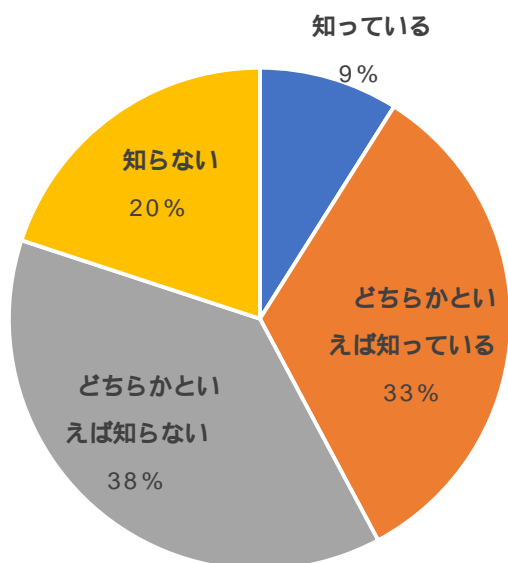


選択肢	回答者数	割合 (%)
農作物の収穫量や品質低下への影響	193	64
家畜の生産性への影響	110	37
水産資源への影響	152	50
水環境・水資源への影響	111	37
渇水リスク増大の影響	100	33
自然生態系への影響	172	57
大雨による自然災害の影響	216	72
高潮や高波等による影響	85	28
熱中症や新たな感染症による健康への影響	133	44
産業・経済活動への影響	48	16
日常生活への影響	93	31
地域イベントなどへの影響	97	32
特にない	12	4

<その他回答>

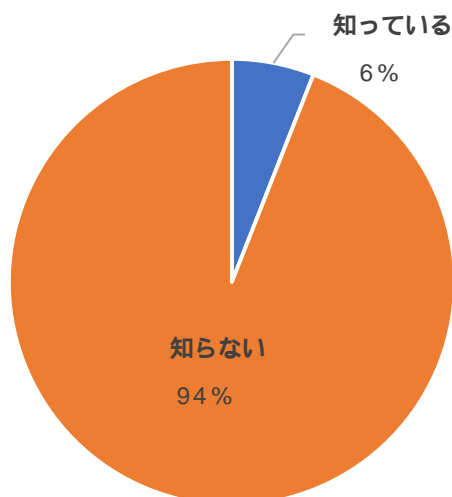
- ・海・山・川など自然災害危険地域に建てた住宅
- ・食料自給率を上げて地産地消をすれば気候変動問題解決にもつながる
- ・地球温暖化は私たちだけの問題ではなく、子供孫たちにとっても大変な問題
- ・熱波を避けるため生活のリズムを夜型にする、戸外での活動時間を制限するなどの必要性が生じるなど人体への影響が懸念
- ・水田の減少（大雨洪水の治水に水田の存在が重要）。米価が下落、世界的には小麦粉高騰、不作。日本は米飯、米粉で対応可能であ

Q.16 あなたは、気候変動影響への適応策を知っていますか。（1つ選択）



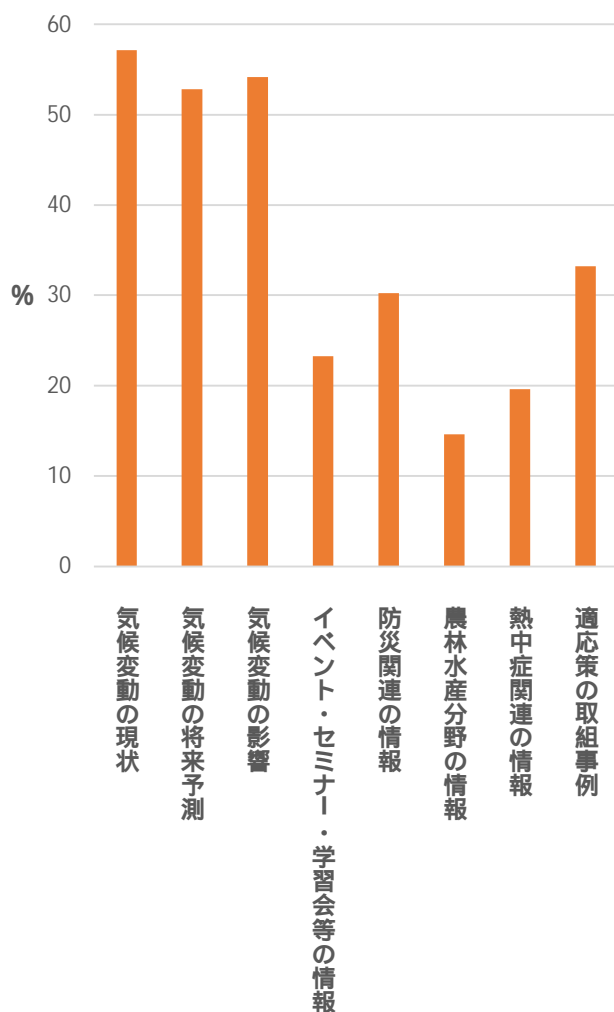
選択肢	回答者数	割合 (%)
知っている	27	9
どちらかといえば知っている	100	33
どちらかといえば知らない	114	38
知らない	60	20
合計	301	100

Q.17 長崎県では、適応策を推進していくため、令和3年10月1日に「長崎県気候変動適応センター」を設置しましたが、あなたはこのことを知っていますか。(1つ選択)



選択肢	回答者数	割合 (%)
知っている	18	6
知らない	283	94
合計	301	100

Q.18 あなたは、長崎県気候変動適応センターに今後どのような情報を発信してほしいですか。(複数選択可)

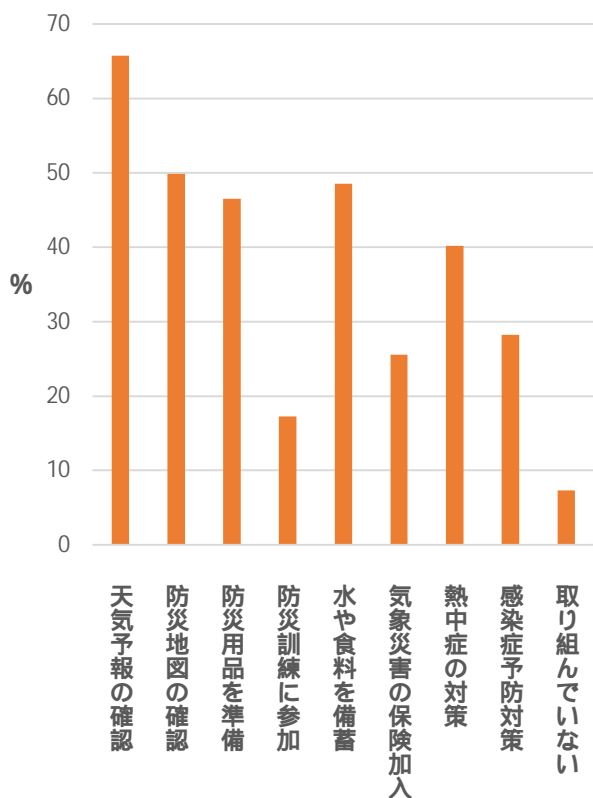


選択肢	回答者数	割合 (%)
気候変動の現状	172	57
気候変動の将来予測	159	53
気候変動の影響	163	54
イベント・セミナー・学習会等の情報	70	23
防災関連の情報	91	30
農林水産分野の情報	44	15
熱中症関連の情報	59	20
適応策の取組事例	100	33

<その他回答>

- ・難しくなく、みんなが分かるような啓蒙を考えて都度訴えてほしい (もっと強い情報発信)
- ・地域や学校での講習会
- ・長崎県の取り組み

Q.19 適応策として個人で取り組めるものとして、以下のような取り組みがあげられます。この中で、あなたが日頃から取り組んでいるものはありますか。取り組んでいるものをすべてあげてください。(複数選択可)

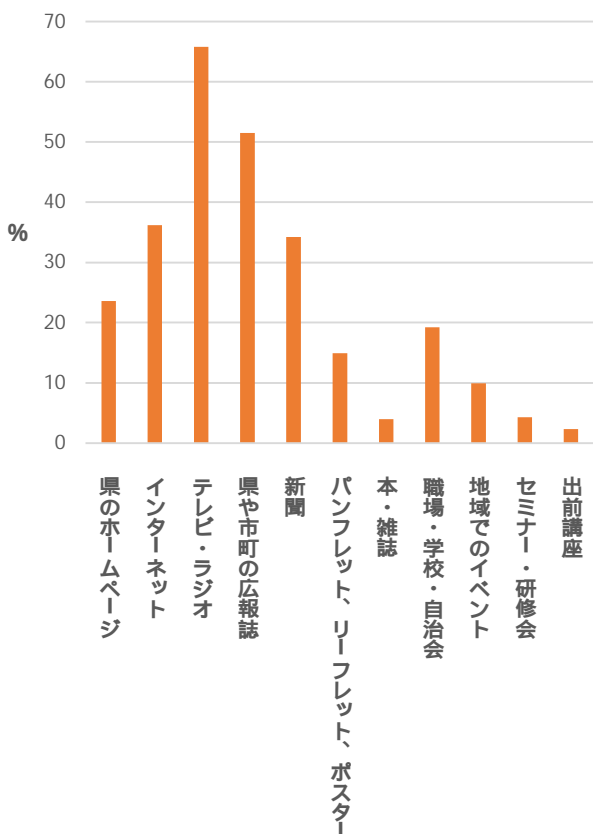


選択肢	回答者数	割合 (%)
天気予報の確認	198	66
防災地図の確認	150	50
防災用品を準備	140	47
防災訓練に参加	52	17
水や食料を備蓄	146	49
気象災害の保険加入	77	26
熱中症の対策	121	40
感染症予防対策	85	28
取り組んでいない	22	7

<その他回答>

- ・少しでも多くの情報収集(ネットでの検索など)
- ・海・山・川など自然災害危険地域に家をたてない
- ・ハザードマップだけをあてにしない自分なりの避難経路をシミュレーション

Q20 あなたが、適応策をより多くの方々に認識してもらうための媒体や機会として有効と思うものは何ですか。(3つまで選択可)



選択肢	回答者数	割合 (%)
県のホームページ	71	24
インターネット	109	36
テレビ・ラジオ	198	66
県や市町の広報誌	155	51
新聞	103	34
パンフレット、リーフレット、ポスター	45	15
本・雑誌	12	4
職場・学校・自治会	58	19
地域でのイベント	30	10
セミナー・研修会	13	4
出前講座	7	2

<その他回答>

- ・どう呼びかけたら効果が上がるのか、事前に検討・シミュレーションすることが大事
- ・月1回の県報の内容をもっと充実(年配は皆がパソコンをできるわけではない)
- ・県知事による情報発信
- ・YouTubeなどの広告
- ・県・市町自らの行動

Q21 気候変動影響への適応策に関して、県の施策として求めるものは何ですか。ご自由にご記入ください。

< 意見（一部要約） >

(1) 自然災害・沿岸域

- ・災害の種類（津波、台風、地震、豪雨など）に合わせたハザードマップの位置見直し
- ・ハザードマップ上の危険区域における具体的な対策の実施
- ・避難施設の老朽化対策（台風の際に避難場所の屋根が剥がれた事例あり）
- ・自治会で防災に関するセミナーを開催（春の役員決めなど参加者が多い時期に話をする）
- ・災害時の備えなどの普及活動

(2) 農業、森林・林業、水産業

- ・温暖化による影響について情報発信（危機感の情報共有などが必要）
- ・温暖化等によって現実に起きている問題（例えば磯焼けによる水産資源の枯渇など）への迅速な対応

(3) 健康 特に関心なし

(4) 水環境・水資源 特に関心なし

(5) 自然生態系

- ・公共事業を施工する際にも、施工後でも、事業に対する再評価を実施（適応策の対象は人間だけでなく、地球上のすべての生き物や動植物への配慮が求められる）

(6) 県民生活・都市生活

- ・コンパクトシティ化（公共交通網の積極的活用）
- ・環境保護を継承していくシステムを財産とすべき（環境に配慮したオランダの都市づくりから生まれたハウステンボスやIRでそのポリシーが失われないように）

(7) 産業・経済活動

- ・温暖化対策の開発企業を誘致（国立公園内での地熱発電の実施など）

(8) その他（全般的なもの）

【普及啓発、教育】

- ・もっと県民に伝わるような広報を実施
- ・気軽に取り組むことのできる適応策を広報誌やネットで紹介
- ・毎日のテレビでCMのように繰り返し、危機感の情報や各自でできる対策などの情報発信（テレビ以外にもラジオ、県や市町の広報誌、新聞、SNSなどの広報媒体により情報発信）
- ・テレビでの特集番組の放送 ・将来のビジョンを発信（今どうすればいいのか、今後どうなるのかなど）
- ・イベントやキャンペーン、市町と連携した広報活動などの実施
- ・小中学校からの意識醸成に寄与するような活動
- ・緑化（例えば線路内にグリーンを植えるなど）、リサイクル、リユースを手軽に出来るよう場所などの情報共有の拡大
- ・二酸化炭素が気候変動をもたらすという証拠の提示 ・気候変動の予測、早急な周知

【取組支援など】

- ・住民から適応策の意見を公募し、意見の多かった適応策を各自治会で実践し、優秀自治会にはインセンティブを付与（適応策は住民がすぐに取り組めるもので、目に見える効果が顕著に表れるもの）
- ・集合賃貸住宅でも可能な対策を増やす
- ・災害時の避難者への支援（食糧、飲料水、毛布等の十分な確保、高齢者のための簡易ベッドの確保、感染症対策のためのパーティション、消毒の準備）
- ・他県との比較を含めた長崎県の現状把握と地域ごとに求められる重点施策の策定
- ・自治体が各自の重点施策にどのように取り組み、どのような成果を上げたかの確認

今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。